

わたしの好きな よりの

No.162



大北勝則さん
(菅原)

今回皆さんに紹介するのは、玉淀ダム下流の河原から見上げる末野大橋の風景です。私が小学生のころ、よく魚釣りをしていた場所で、当時はまだ存在していなかった橋です。

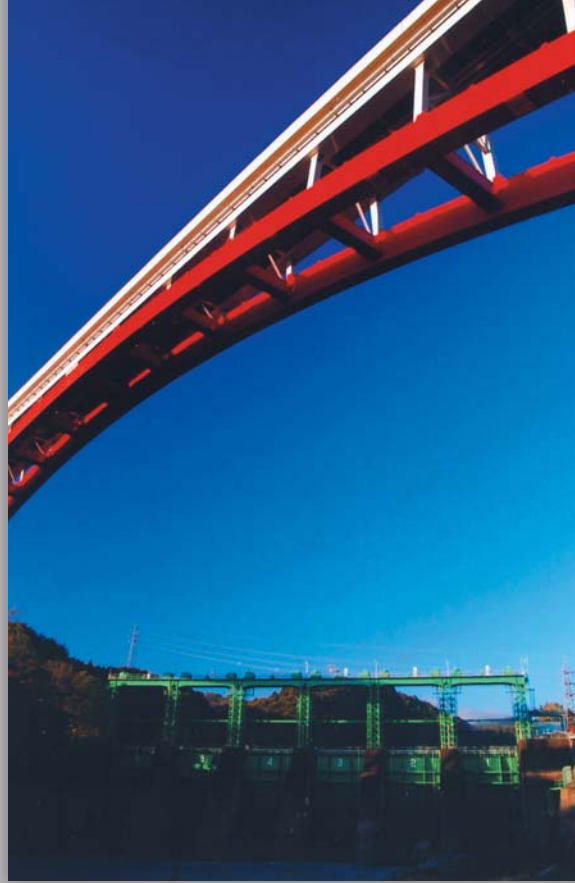
河原から空を見上げると、秋の澄みきった青空を“ドキッ”とするような真紅の曲線が切り裂いているようで、強烈なインパクトを受けます。

橋の上流に見える玉淀ダムは、農地の灌漑と水力発電を目的に昭和39年に完成したとのこと



末野大橋はまだ記憶に新しく、平成17年3月に完成。国道140号から皆野寄居有料道路をつなぐバイパスの一部です。ふるさとの自然と人工建造物の作り出す寄居の新しい風景ですね。見慣れるまでは、見知らぬ土地に来てしまったような感じを受けましたが、完成から4年が経ち、だいぶ馴染んできました。

時とともに少しずつ様を変え、ふるさとの風景の変化の記憶は、次世代に受け継がれていくのですね。



<青と赤>

朝日が昇るくらいの時間に、折原橋から雄大な景色を眺めながらの散歩は気持ちがいいですよ。皆さんも一度お出かけください。

わが町の 達人 No.31 レクリエーションの達人



佐藤幸雄さん (秋山)

少年時代、ボーイスカウト活動の中でゲームや歌、キャンプ等を体験し、集団活動って楽しいなあと感じたのが病みつきになりました。それが長じてレクリエーションの資格やキャンプの資格を取り、活動を始めて早40数年が経ちました。現在は、レクリエーション活動指導の他、レクリエーション支援者の養成、キャンプインストラクターの養成、福祉

このコーナーは、「寄居生活学の達人」として町に登録をいただいている町民講師の方を中心に、そのうちくや技術、体験などを町民の皆さんに紹介するコーナーです。

施設で行われるレクリエーション活動の講習会などを行っています。

よく、レクリエーションってなに？と質問を受けますが、レクリエーションとは、「遊びの中からすばらしいもの(楽しい、嬉しい、面白い等の価値)を引き出して、生活を生き生きと活性化させるもの」と説明しています。つまり、色々な種目を楽しむことや仲間と楽しいおしゃべりを通じて、「生活を生き生きとさせる活動」と言うことができます。

現在行っているレクリエーション活動指導を紹介します。

○介護予防指導

マシンを利用したり、ストレッチングをしたりすることで、転倒予防を行います。

○歌って回想健康法指導

歌って回想健康法とは、懐かしい歌を歌って自分の人生を振り返ると同時に脳の活性化と情緒の安定、生き生きとした生活をエンジョイするヘルスプロモーション活動です。

○ネイチャーゲーム指導

ネイチャーゲームとは、自然の中

で自然を満喫できるゲームのことで、環境教育に最適です。

○ふれあいサロン等での楽しいお話

健康のお話や楽しい歌、ゲームなどを行います。これからは、介護予防プログラムも取り入れる予定です。

○ホスピタリティー・トレーニング

人と接する時、相手が心地よく、そして楽しくお話や活動ができるように心配りが必要です。その心配りの中心がホスピタリティーです。これをトレーニングで習得していきます。

レクリエーションを通じて、楽しく豊かな人生を送ることができます。これからも、町民の皆さんのレクリエーションのお手伝いをして、一人でも多くの方にレクリエーションの楽しさを広めていきたいと思ひます。

